

佐渡文化・芸能シリーズ 文弥節と佐渡民話を聴く

11月21日(日)、金井能楽堂館で、「佐渡文化・芸能シリーズ 文弥節、佐渡民話を聴く」を開催しました。

このシリーズは、佐渡に伝わる文化や伝統芸能について、身近に触れる機会を設けることを目的に企画したものです。

今回は2部構成とし、第1部では、「文弥節を聴く」と題して、常盤座の久保宗香太夫と真明座の平野宗晴太夫の講師が文弥節を披露しました。古浄瑠璃の1つである文弥節は、佐渡市や石川県白山市などで人形芝居と結びつき民俗芸能として今に継承されています。

2名の太夫は、人形芝居の場面に応じた「役節」という節回しを解説を交えながら実演し、来場者に紹介していました。

第2部では、「佐渡民話を聴く」と題して、笠井淳子さんが民話「佐渡おけさ」の紙芝居を披露しました。笠井さんは、登場人物に応じて声色を変え、また、お手製の小道具を駆使して民話を語っていました。

会場では、講師の愛用品である三味線や台本、紙芝居の道具などが展示され、来場者たちは日頃見ることができない貴重な芸能道具を眺めていました。

最後に佐渡博物館の池田哲夫館長から、「文弥節と民話を聴いて、佐渡には自慢できる素晴らしい宝物があることを、再認識しました。」とご講評いただきました。

この日の様子はオンラインでも同時に配信しました。今後も佐渡の文化・芸能のファンが、島内外に増えるよう、佐渡の継承者の皆さんと、もっと身近に触れる場を提供していきたいと思っております。

このシリーズで、気軽に触れてみたい芸能やテーマがございましたら、佐渡文化財団までお寄せください。よろしく願いいたします。



▲常盤座の太夫 久保氏



▲真明座の太夫 平野氏



▲民話を語った笠井氏



▲講師の愛用品の展示



▲佐渡博物館 池田館長

～ 文弥節は、世界からも注目 ～

佐渡と石川県の文弥節を研究しているドイツ・トリーア大学の大学院生であるフルナリさんが、オンラインを通して佐渡の太夫との交流を行いました。

日本学を専攻しているフルナリさんは、佐渡文化財団を通して文弥節の資料を集めていましたが、現役の太夫から実際の文弥節を聞ければと、久保太夫と平野太夫の協力を得て実現しました。メールなどでは伝え切れない力強い唄声と三味線の音色を聞いたフルナリさんは感動しながら、佐渡の人形芝居や人形座など、興味・関心があることを2人に伺いながら交流会は進みました。フルナリさんは、この日聞き取った内容をまとめ、学会などで発表するそうです。



～ GIAHS認定10周年 記念フォーラム ～

世界農業遺産（GIAHS）に佐渡市が認定されてから今年で10周年を迎える節目の年に、記念フォーラムがアミューズメント佐渡などを会場に10月29日（金）から3日間開かれました。

基調講演やエクスカージョンなどのプログラムが用意されている中、「農業が育んだ地域社会の営みと文化・歴史」をテーマに開かれた分科会には、佐渡文化財団の藪田亨理事もパネラーとして登壇しました。会場の参加者らは、農村コミュニティの維持と、伝統芸能を未来に継承していくために必要な仕組み作りなどについて活発な意見交換を行っていました。



▲佐渡の農文化について開かれた分科会

～ 金井小学校の児童が、わらじ作り ～

10月18日（木）、金井小学校の5年生がわらじ作りに挑戦しました。

講師は、わらじ作りに携わる小岩井さんをはじめ、児童の家族や地域の経験者の方です。この日は、学校田で育てた稲わらを使って、縄ないからわらじ作りまで挑戦しました。初めこそ苦戦していましたが、できるようになると友達同士で教えあう様子も見られ、最後

には全員が半足以上を完成させることができました。

児童たちからは「家にもわらがあるから帰ってやってみる」「家族に教えてあげよう」といった感想がありました。児童たちと一緒にわらじを作った講師の皆さんからは「この取り組みがこれから先もずっと続いていくと嬉しい。」と話していました。



賛助会員を募集しています!!

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。賛助会員には、ニュースレターなどの情報提供や特製2022カレンダー贈呈の特典があります。

会費は、個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何口でも、お申し込みいただけます。

ご賛同いただける方のご支援をお願いしております。詳しくは下記QRコードからホームページをご覧ください。

特典の財団特製2022ポスターカレンダー📅



○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。



佐渡文化財団の活動、和楽器貸出、通信販売など詳しくはコチラから ➡